

扱い月	扱い時数	題材名等	題材の目標等	学習のめあて	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)										教育基本法との対照 /他教科等との関連		
						A 表現					B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項					
						歌唱		器楽		音楽づくり	鑑賞(1)		ア	ウ	ア	イ		
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ			
4	随時	〔巻頭教材〕	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムを聞き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	歌に合わせてリズムであそぼう	朝 のリズム	○ ○ ○									(リズム／拍)	創造性を培う		
	毎時																	
5	7	1 強さと はやさ	(1) 手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなどを関わせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつけたりする技能を身に付ける。 (2) 強弱、タイミング、打回数、音色などを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、身の回りの様々な音や音楽に親しむ。	手びょうしリレーであそぼう	☆手びょうしリレーであそぼう	○ ○ ○									(強弱／音色)	創造性を培う／公共の精神		
6	7	2 はくや ドレミと なかよし	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつけたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。 (2) リズムなどを聞き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもつたり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	はぐに のって リズムで あそぼう	こいぬの ピンゴ ☆どうぶつクラブで あそぼう	○ ○ ○										拍／リズム／速度／音階／フレーズ／音の重なり／縦と横との関係	拍／リズム／速度／音階／フレーズ／音の重なり／縦と横との関係	創造性を培う
7	3	<音の スケッチ>	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどを関わさせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音の重なりやリズムを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。 (3) 音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きや鍵盤楽器に親しむ。	音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう	☆音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう	○ ○ ○								音階／リズム／音の重なり	音階／リズム／音の重なり	創造性を培う／公共の精神		

扱い月	扱い時数	題材名等	題材の目標等	学習のめあて	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)										教育基本法との対照 /他教科等との関連			
						A 表現					B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項						
						歌唱		器楽		音楽づくり	鑑賞(1)		ア	ウ	ア	イ			
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ア	イ		
9	毎時	〔めざせ 楽き名人〕	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	ドレミで 歌ってから えんそうしよう	かつこう トドレミのトンネル	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	(拍/音階/速度)	創造性を培う	
	4					にじの クレヨン ◆虫のこえ ◎ながうた「むしの声」	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	音色/旋律/変化	創造性を培う 生活科との関連も考えられる	
10	2	〔音のスケッチ〕	(1) 身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなどと関わらせて気付く。 (2) 音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聞く。 (3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音に親しむ。	どんな 音が きこえるかな	☆どんな 音が きこえるかな	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	音色/強弱	音色/強弱	生活科との関連
	4					○ゆかいな 時計 森の たんけんたい	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	音色/リズム	音色/リズム	創造性を培う
11	2	〔にっぽんのうた みんなのうた〕	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	◆タヤケ コヤケ	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	(旋律/音色)	伝統と文化の尊重 生活科や道徳、図画工作科との関連も考えられる	
	3					こぎつね	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	(フレーズ/反復/強弱)	創造性を培う	
12	3	〔音のスケッチ〕	(1) 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつたりする。 (3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	おまつりの 音楽を つくろう	☆おまつりの 音楽を つくろう	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	音色/リズム	音色/リズム	伝統と文化の尊重/創造性を培う

扱い月	扱い時数 年間計 70	題材名等	題材の目標等	学習のめあて	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)										教育基本法との対照 /他教科等との関連		
						A 表現					B 鑑賞		〔共通事項〕(1)に関する事項					
						歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞(1)	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	
1	2	6 音楽のながれ	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	いろいろな 音やせんりつのうつりかわりを楽しもう	◎そりすべり					○	○	音色／旋律／反復／変化		音色／旋律／反復／変化		創造性を培う		
	3	7 ぐりかえしと かさなり	(1) 曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聞き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 反復、音の重なり、速度などを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつたり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	汽車の走るようすを 音楽であらわそう	汽車は走る ◎しゃっぱつ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	反復／速度／音の重なり	反復／速度／音の重なり	創造性を培う
2	4	8 みんなの音楽	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聞いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や音の重なりなどを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもつ。 (3) 曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	みぶりを つけて みんなで 歌おう 音を えらんで 合そうする 楽しさを あじわおう	ウンバッバ ◎ティニックリング チャチャマンボ ◎マンボ ナンバー ファイブ	○	○	○						○	○	拍／旋律／音色／音の重なり	拍／旋律／音色／音の重なり	公共の精神／創造性を培う
	1	〈にっぽんのうた みんなのうた〉	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聞き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。		◆春がきた	○	○	○							(旋律／リズム)		伝統と文化の尊重	
3	4	〈音のスケッチ〉	(1) 音型の反復について、それらが生み出す面白さなどを関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係や強弱などを聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白を感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつたり、自分たちのつくった音楽と共に通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	みんなの 音楽時計を つくろう	☆みんなの 音楽時計を つくろう ◎ウイーンの 音楽時計 おしゃべり 音楽時計					○	○	○	○	○	○	縦と横との関係／反復／強弱	縦と横との関係／反復／強弱	公共の精神／創造性を培う

扱い月	扱い時数 年間計 70	題材名等	題材の目標等	学習のめあて	教材名 ◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり	学習指導要領の内容との関連(例)										教育基本法との対照 ／他教科等との関連							
						A 表現					B 鑑賞		【共通事項】(1)に関する事項										
						歌唱		器楽		音楽づくり	鑑賞(1)			ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ
						ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ		
	1	[クリスマス ソングを 歌おう]	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持との関わりに気付くとともに、思いに合った表現するために必要な、互いの声や伴奏を聞いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白を感じ取らながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつたり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しむ。	クリスマス ソングを 歌おう	ジングルベル ◎クリスマス ソング メドレー	○ ○ ○												(旋律)		創造性を培う			
随時	[音楽ランド]	(各題材の発展や補充、行事や他教科との関連)			あの 青い 空のように ブブ 歌おう 夏だ！ やおやの おみせ アンダルコの 歌 おまつり ワッショイ ジェットコースター (せん校合しよう) (ショート タイム ラーニング)	音楽のおくりもの さんぽ みんなで九九 BINGO	○ ○ ○												英語・算数との関連／創造性を培う／公共の精神				
					校歌・きみがよ	○ ○ ○													公共の精神				
	2	(にっぽんのうた みんなのうた)		しぜんの うた	つき／とんぼの めがね／雪	○ ○ ○													伝統と文化の尊重／生活科との関連				